学校番号	1010

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	東京書籍「新編　社会と情報」　（東京書籍）						
副教材等	ポイントでマスター　基礎から始める　情報リテラシー2013　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っている機械（コンピュータ）に対して、理解を深め、良い使い方は何かを考えましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、ワークショップや演習等を通して考え、友だちを含めた多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。

2　学習の到達目標

・情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解する。
・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集，処理，表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を身につける。
・情報社会に積極的に参画する態度を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度	・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力	・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている	・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 レポート 確認テスト 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 小テストの結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
第1クール	コミュニケーションと情報モラル	○コンピュータの基本操作 ○コミュニケーションワーク ○情報モラル学習	○	○	○	○	a:コンピュータに興味を持ち、適切に活用しようとしている。 b:コミュニケーションワークの課題をクリアするための様々な方法を考え、グループ内で自らの考えを表現できる。 c:コミュニケーションワークにおいて情報の適切な活用ができる。 d:情報化が人間に及ぼす影響について理解する。	学習状況の観察 ワークシートの記述 小テスト 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価
第2クール	情報モラルポスター制作	○アイディア発想法 ○情報モラルポスターを作ろう	○ ○	○ ○	○	○	a:発想法について関心をもち、アイディアを出そうとしている。 b:情報モラルに関するキーワードを多数発想できる。 c:キーワードからテーマに沿ったキャッチコピーを創造できる。 d:アイディアを出すための発想法について理解する。	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価
第3クール	文書制作ソフトを用いたポスター制作	○文書制作ソフトの練習 ○ポスターの研究 ○文化祭ポスターを作ろう	○ ○	○	○ ○	○ ○	a:文書制作に関心を持ち、ポスター制作に積極的に取り組んでいる。 b:ポスターに用いられているさまざまな技法について考えることができる。 c:ポスター研究で学んだことを活かし、インパクトのある文化祭ポスターを制作できる。 d:文書制作の基本操作および活用方法を理解する。	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価

第4クール	プレゼンテーションの学習	○プレゼンの基礎 ○配色理論 ○見やすいプレゼン資料の作り方	○ ○	 ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:プレゼンの重要性を理解し、関心を持って学習に取り組んでいる。 b:見やすいプレゼン資料と、見にくいプレゼン資料の違いについて考えることができる c:自らの配色で見やすいプレゼン資料を作ることができる d:配色理論の知識を持ち、見やすいプレゼン資料とは何かについて理解する	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価
第5クール	表計算ソフトを用いた統計分析	○表計算の練習 ○統計データを分析しよう	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a:データを活用することにより、どのようなことが可能になるか関心を持っている。 b:データを加工することにより、データの持つ意味を考えることができる。 c:統計データの分析から自分の意見を述べることができる。 d:表計算の基本操作および活用方法を理解する。	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。